

報 告 書

開 催 日 時	令和4年11月15日 19時00分 ～ 20時00分		
自治協議会名	河合地域住民自治協議会	開 催 場 所	河合地区市民センター
出席議員	宮崎栄樹、北森徹、西條エリ子		
	班 長	宮崎栄樹	記録・報告者 宮崎栄樹
参加人数	16 名		

【主な意見・提言等】

（１）地域防災について

①消防団に関すること

- ・若い人が少なく団員の確保が難しい。
- ・これまでは区の中で班が構成できていたが、今は3つに分けた（広域化した）。
- ・団員のいない地域があり他の地域が担当しているが、なぜ行かなければならないのかという声がある。
- ・地域防災が担っていく必要がある。団員の活動の整理をしているところ。
- ・市は団員確保について地域の声を聞いているのか。現場に出向いているのか。
- ・通勤範囲が広く、有事の際に対応できない。名目だけの団員になる可能性もある。
- ・仕事がすぐ抜けられないことがあるため、市が法的に特別休暇や有休取得が可能になるように定めて欲しい。
- ・消防本部の機能拡充をお願いしたい。
- ・団員にならない人や団の行事に欠席したら負担金をもらう地区もある。男性からは徴収し、女性からは徴収せず、公平でないこともある。
- ・現状団員1人の区があり、来年度で団が終わる。自主的に組織を作っていくことを検討している。
- ・消防団のグランドデザインを知らせて欲しい。
- ・消防団が無い地区があるが、行政からの指導はあったのか。

②防災対策に関すること

- ・急傾斜地の対策について詳しく説明が欲しい。
- ・防災無線が終了したが、代わりのものが必要。音声で情報が欲しい。
- ・年に数回避難訓練をした方がいい。近年、台風の規模や進路が変化しているため心配、家族間や地域内で話し合うことが大事。
- ・樹木の伐採に対する補助をしてもらいたい。市の補助金もあるが、年に一回だけで間に合わない。
- ・消防が通る道路の枝切りをお願いされるが、高齢化で対応が難しい。
- ・老いた地区は、将来どうするのか不安で仕方ない。

- ・避難所である公民館が山の上にあり、心配で避難したくない。新たな公民館兼避難所を作ろうかと検討するも先立つものがない。
- ・急傾斜地がたくさんあり、整備や倒木の撤去の要望もしているが却下されるため、そういったところに視点がいくようお願いしたい。
- ・阿山小学校を避難所になっているが、立地的に地区内のコミュニティーセンターを避難所にしたい。

➤議会からの意見・提言

- ・伊賀市消防本部は、伊賀市消防団活性化計画を策定した。これを住民のみなさんと共有し、地域としてできることや消防本部としてやるべきことを一緒に考えていかなければならない。
- ・支援団員の拡充も必要。防災情報の伝え方や避難場所の設置についても考えていきたい。
- ・女性団員の確保についても取り組んでいかなければならない。また、企業へ団員が休暇をとれるようなアプローチも考えていかなければならない。

(2) 買い物支援について

- ・行政バスの利用が少ないが、病院の送迎バスは満員。
- ・デマンド運行をしてもらいたい。
- ・民間のサービスとして、移動販売や弁当の配達などやってくれている。

➤議会から意見・提言

- ・地域でニーズにあったものを選んでいく必要がある。
- ・地域で考えるにも現界があるため、市が全域をみた公共交通のあり方を考えていかなければならない。

(3) 同日選挙について

- ・地域としては賛成。
- ・地域に聞きに来るまでもなく、早急に結論を出すべきではないか。

伊賀市議会議長 様

令和4年12月16日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和4年度地域意見交換会 6 班

班長 宮崎 栄樹